



マナー向上～みんなが気持ちよく過ごせるために

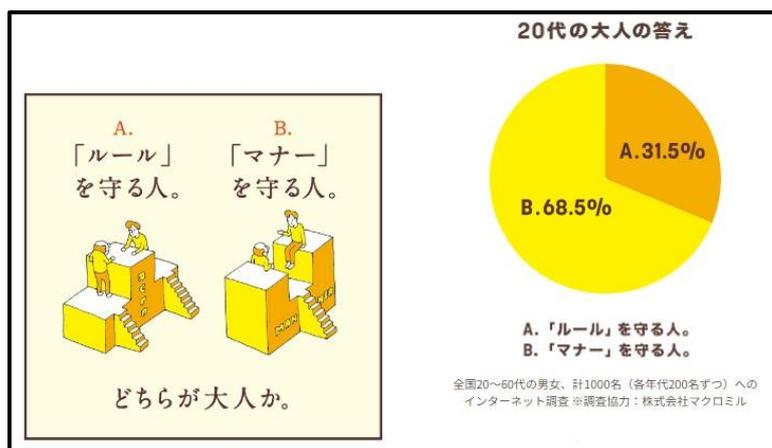
期末テストも終了し、1学期もあと少しです。全員が気持ちよく1学期を締めくくられるように、自分自身のマナーについて考えてみよう。

「ルールとマナーの違い」

「ルールとマナー」何が違うでしょうか？

ルールもマナーもどちらも他人を配慮する気持ちから生まれたものといえます。そして私たちが安全・安心に生活するために欠かせないものといえます。では、「ルールとマナー」にはどのような違いがあると思いますか？国語辞書によると、「ルール」とは、「守らなければならない規則・決まりごと」のことを意味しています。校則もルールの一つですね。一方で、「マナー」とは、「守ったほうが良い節度ある態度・礼儀作法」を意味しています。つまり「マナー」はお互いが気持ちよく過ごせるための「思いやり」のことを意味しています。

どちらを守る人が、より大人か？



「ルール」は決まりですから、守るのは当たり前です。子どもだって「ルール」は守らなければいけません。一方、「マナー」で大切なのは相手を思いやる心。「ルール」ばかりを声高に叫んで「マナー」を守れないようでは、とても大人とは言えないでしょう。

(JT ホームページより引用)

私たちはマナーに守られている？

「相互尊重」つまり「相手に不快な思いをさせない、そしてお互いに気持ちの良い時間を過ごす」という考えから行くと、日常生活の中で、マナーにお世話にならない時はないぐらいお世話になっています。

例えば「良い環境で学習できる」や「約束の時間を守る」というようなことはマナーで支えられていると言えます。

私たちはどれだけこの「常識」や「普通」に守られているか判らないのです。

どうしたらマナーを守った行動ができるのか？

「相手に不快な思いをさせない、そしてお互いに気持ちの良い時間を過ごす」ということを考えて行動すれば自ずとマナーを守った行動ができるようになります。そのためには、やろうとしていることが、「やって良いことなのか？悪いことなのか？」、「やるべきことなのか？やるべきではないのか？」をみなさん自身が主体的に判断しなければなりません。このことを心がけて行動し、マナーの向上に努めましょう！

先日、卒業生から制服を寄付していただきました。卒業後も大切に保管されていたものを、後輩のためにぜひと届けてくださいました。急な雨で濡れたり、汚れたりした場合は貸し出すこともできますので、困ったことがあったら生徒部まで申し出てください。

7月は

マナー向上強調旬間

マナー向上～みんなが気持ちよく過ごせるために

☆マナー5原則☆

【あいさつ】

挨拶は、人と人との関係を築く最初のステップであり、相手に対する敬意とオープンな姿勢を示す重要な行為です。元気で明るい声、笑顔を伴う挨拶は、ポジティブな第一印象を与え、コミュニケーションの土台を築きます。挨拶は、相手を認識し、その人との関係を大切にする意思を伝えるために、常に意識して行うべきです。

【身だしなみ】

身だしなみは、自己尊重の表れです。

清潔で整った服装、適切なヘアスタイル、相手に対する敬意を示し、信頼感を構築します。

特に、服装が整っていることは相手に対する尊重と自分自身の自信を示すことにつながります。その環境に適した服装を選ぶことが重要です。

【表情】

表情は、言葉を超えて感情や態度を伝える強力な手段です。特に笑顔は普遍的な歓迎のサインであり、相手に安心感と親しみを与えます。

表情は状況に応じて適切に使い分ける必要があり、相手の話真剣に耳を傾ける際の真摯な表情や、共感を示すときの温かい眼差しなど、状況に応じた表情が求められます。

【言葉遣い】

言葉遣いは、相手への敬意を表す基本的なマナーです。TPO に応じた言葉遣い、例えば適切な敬語の使用、丁寧な表現、相手を尊重する言葉の選択(特に『親しき仲にも礼儀あり』を意識して)などは、良好な人間関係を築く上で不可欠です。

【態度】

態度は、表情や言葉と同様に、相手に対する自分の姿勢を示すものです。敬意を持って相手の話を聞く姿勢、礼儀正しい行動、相手の意見を尊重する態度などが含まれます。

相手に対してポジティブな態度を取ることで、信頼と尊敬の気持ちを伝えることができます。

「相手に不快な思いをさせない、そしてお互いに気持ちの良い時間を過ごす」ということを考えて行動すれば自ずとマナーを守った行動ができるようになります。そのためには、やろうとしていることが、「やって良いことなのか？悪いことなのか？」、「やるべきことなのか？やるべきではないのか？」をみなさん自身が主体的に判断しなければなりません。このことを心がけて行動し、マナーの向上に努めましょう！